



会報

2018 ▶ 2019
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕、 閃きと実行

会長／大嶋 孝広 幹事／堀 光輝

インスピレーションになろう

プログラム

- 本日
来賓卓話「会員増強について」
滝川RC 直前会長 山口 清悦様
- 次週予定
移動夜間例会

No. 2803

第17回 11月7日

出席報告

前
例
会

会員総数	33名
出免会員	2名
出免出席	2名
基準会員出席	18名
出席率	60.61%

前
々
会

第14回 10月17日

欠席会員	14名
内メイクアップ	14名
修正出席率	100%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



会長報告

- 10月25日に、第5回定例理事会並びに第3回クラブ協議会を開催しました。11月例会プログラム、10月末までの会計報告、9月29日開催の補助金事業報告、特別支援事業への援助、指名委員会立ち上げについて承認いたしました。
- 留萌クラブで申し込みをしていた国際奉仕事業のプログラムが決定したと連絡がありました。プロジェクト名は「地域インフラプロジェクト」、事業内容は図書館事業、学校はドンチャルーンスクール、地域はタイ国ノンカイ県で、相手クラブはノンカイロータリークラブです。事業完了時期は2019年1月末です。事業共催クラブは、留萌、羽幌、深川の3クラブです。



幹事報告

- ・芦別RCより、10月会報と11月例会案内を受領しました。
- ・ガバナー事務所より、タイ検証ツアーの案内をいただきました。日程は、2019年1月27日から31日までです。参加申し込みの締め切りが11月20日までです。参加希望者は幹事まで。



委員会報告

社会奉仕委員会

燕 委員長

先日開催した地区補助金事業の報告が理事会で承認されましたので、本日その報告書を回覧したいと思います。よろしくお願ひします。

親睦活動委員会

鈴木 委員長

親睦委員会最大の事業である年忘れ家族会を

12月5日に開催いたします。明日11月1日に皆様にFAXにて出欠の確認をさせていただきます。締め切りは少し早いのですが、11月15日といたします。ぜひ多くの会員、会員ご家族、会員関係者のご出席をお待ちしております。よろしくお祈りいたします。

ニコニコBOX

- 地区大会に参加された皆様ご苦労様でした。ご迷惑をお掛けしました。 大嶋会長
- 皆さん、地区大会への登録ありがとうございました。また、今日はその報告をさせていただきます。 堀幹事
- 先日大嶋会長に大変お世話になりました。 山本会員
- 年忘れ家族会のご案内をしています。多くの会員ご家族の出席をお願いします。 鈴木会員
- 大変ご苦労様でした。 社会奉仕委員会

前 回	408,837円
今 回	35,815円
累 計	<u>444,652円</u>

プログラム

「地区大会報告」

福士会長エレクト

R I 会長代理の柳生好春氏の R I の現況報告を聞いて、これからの留萌クラブの活動に参考なるものがあると思いますので、話されたことを紹介したいと思います。

R I 会長は、120万人のローアリアンで世界を変えると呼びかけています。

私事ですが、私がロータリーに入会したのは、平成22年1月で、その時はあまり戦略という言葉は使われてなかったように思いますが、現在は、戦略という言葉が大手を振って歩いています。男性は戦うのが好きなようです。

ロータリー活動をビジネスとしてとらえています。昔は、親睦・友情を重要視していたように思われますが、最近は、会員増強にしても、誰にでも声をかけるのではなく、ターゲットを絞るとの方針です。

ビジネスとしてとらえれば、当然に経営学が出てくるのでしょうか。マーケットを絞る、世界にどのような価値を提供するか。認知度の向上を図る。ロータリーのスローガン「世界で、地域で、ロータリーとともに〇〇しましょう。」そして、ロータリーが何者であるかを伝えましょう。

ホームページには、記録を掲載するのではない。集合写真ではなく、活動しているときの写真を掲載し、ストーリー仕立てにする。チャーターメンバーの意思が伝わるストーリー仕立てにする。記録では、人は感動しません。ストーリー仕立てにして感動させる。

持続可能性、検証可能性、行動が求められています。そして、一緒に参加しませんかと声をかけましょう。

ロータリーをどのように説明するのか。良いところは「賢明さ・思いやり・行動を起こす熱意・粘り強さ」を日ごろから意識しましょう。

社会奉仕に関する1923年の声明で、「超私の奉仕」「何を実行するのか」「団体の目的」「奉仕するものは、行動しなければならない。」「どのような指針を持って」「どのような社会奉仕活動を行うのか」と発信しています。この声明を忘れないようにしましょう。

そして、120万人ネットワークを活用しましょう。

R I 会長は、マイロータリーの登録目標を50%としているそうです。日本のマイロータリーの登録はとても低い。2510地区の登録は25%程度。日本平均より少し高いということです。マイロータリーに登録して、ロータリーのリソースを知ろう。問題解決のためのリソースは何か。そしてもっと情報を活用しよう。知は愛である。愛は知である。ロータリーの仲間を誘うときに必要なもの。リーダーシップをもって仲間を誘う。そして、ロータリーとは何か問い続けよう。ほかの団体とどう違うのか。ロータリーをアピールできるか。ロータリーの存在理由を問い続け、そして、ロータリーライフを楽しみましょう。

会員増強を行うときも、口コミが一番。一人一人が、ロータリーの良さをアピール。日ごろから意識しようということでした。

以上、わたくしなりに、R I 会長代理の話をまとめてみました。

関野 会員

入会して2年目、初めての地区大会参加であります。

本年は北海道生誕150周年の節目の年であり、会場に関しては今年10月7日にオープンした札幌市民交流プラザ内施設にある「札幌文化芸術劇場“hitaru”」にて盛大に開催されました。このすり鉢状からなる会場は客席が2302席あり、本格的なオペラやバレエをはじめとした様々な公演が可能な複合施設であります。また、今回の地区大会登録数は約1500名、参加者についても約1000名の規模であると聞いております。改めて会場や参加規模をとってもRCのスケールの大きさを実感いたしました。

そして、いよいよ午前9時より公式ファンクションである本会議スタートです。前日の留萌ナイトで夜更かしが過ぎたせいもあり、体調的にはかなり厳しい状態でありましたが…。オープニングとして、1972年札幌冬季五輪で大会テーマソングを歌われた「トワ・エ・モア」茶川澄夫氏（ちゃがわすみお氏）&白鳥英美子さん（しらとりえみこさん）の素敵なお歌声でスタート。1977年生まれの私にとって、このお二人偉大さは全く無知であり、二日酔いの頭にただただ響くだけでありましたが、会場は異様な盛り上がりでした。その後、小山ガバナーを始め国際RC役員のご挨拶、そして北海道知事高橋はるみ知事、札幌市秋元市長の祝辞と、華々しく盛大に開催されたと記憶しております。

印象的にシーンとして、クラブ紹介がありました。各クラブが「HEAR!!」と声高々に叫びアピールする様は、むしろこの雄叫びを上げるために私たちはここの集まったと言わんばかりでした。まさにこれがロータリースタンドであると実感、各クラブのRC愛が伝わってきました。次年度以降はしっかりと準備をして臨みたいと思います。また、10:45 R I 会長代理柳生好春氏（やぎゅうよしはる氏）のR I 現状報告にて、RCの会員増強のお話をされておりました。現在全世界では120万の会員がいるが、毎年減少傾向にあります。北海道では一極集中

する札幌市近郊以外の各市町村において、地域経済の縮小により勧誘したくても企業がない、人材がないという危機的な状況であります。会員増強こそが組織を持続発展させるための運動であり、会の活性化に必要な不可欠な基本運動であります。会員各々がRCの魅力語るロータリアンでならなければいけないと強く訴えておりました。

結びに、本年度国際RCバリー・ラシン会長テーマであります「インスピレーションになろう」。インスピレーションの動詞形はインスパイア（人々を鼓舞する存在になろう）で意味あります。言い換えれば（人々に気づきを与える存在になろう）ということになります。私自身もインスピレーションになれるよう、今大会で得た学びと気づきを自己、会社、クラブにてフィードバックし、自己研鑽を重ね精進して参りたいと思います。大変有意義な時間を与えていただいた大嶋会長を始め会員の皆様、クラブへ感謝いたします。以上、地区大会報告とさせていただきます。ありがとうございました。

堀 幹事

私は主に10月20日に開催された地区大会の内容を報告させていただきます。

厳粛な雰囲気の中、小山ガバナーの点鐘で13時から会長幹事会が開始されました。ガバナーとR I 会長代理の挨拶後に決議案第1号から第13号まで審議され、その後満場一致で承認されました。次に地区指導者育成セミナーが開催されました。2部構成されており、第1部は基調講演でした。「オリジナルビジョンへ＝若者のパートナーとして＝」と題して、講師は元札幌西RCクラブの阪崎健治朗さんという方でした。中学校の教師を経験し、大学の非常勤講師やラジオのパーソナリティをされていたり、また集団組織や人間関係論の本などを出版するなど、多才な方でした。札幌への移動の疲れなのか、それともおいしくいただいた昼食への満足感からなのか、内容を理解するのが難しかったです。最も印象に残ったことは「周りを明るくするためにはまずは自分から」というものでした。人が何かをしてくれるのを待っているのではなく、自分から行動を起こすことによって、周り

第16回 10月31日(水) 天候/雨

の人に様々な影響を与えることが出来、ロータリアンである私たちがまずは自分の所属しているクラブで行動を起こし、周りに波及させていく必要性を述べていました。今年の国際ロータリーのテーマでもある「インスピレーションになろう」に通じるものがあります。

第2部は「ロータリーの未来ビジョン」というテーマでパネルディスカッションが行われました。これは3年に一度ロータリアンなどを対象に行っている調査項目らしく、まず強みなのですが多数ある中から代表的な3つを紹介します。

1. ロータリアンは友情と親睦を実際に味わい、特に例会に参加し、顔を合わせる事によってより深めている。
2. ロータリーの様々な活動に参加する事によって、地域や世界をよくする機会を与えられていると感じている。
3. ロータリーでの経験は多かれ少なかれ理想と一致しているため、会員であり続ける意欲や意思を持っている。

というものが浮かび上がったそうです。自分に当てはめると「まあそうだな」と思う方も多いのではないのでしょうか。

逆に課題も幾つか浮かび上がりました。代表的なものは次の通りです。

1. 現在のロータリアンは年齢層が高い。
2. 情報の透明性と説明責任は最優先であるが、4割の人が劣っていると感じている。
3. ロータリーは変化のペースに遅いと感じている。
4. 所属しているクラブが今以上に多くの社会奉仕や国際奉仕のプロジェクトに参加すべきと思っている。
5. クラブのロータリアンが活動に十分に参加しておらず、参加意欲の低減や会員数の減少に繋がる恐れがある。などでした。

パネルディスカッションでは調査項目で浮かび上がった課題について討議が行われました。この中で多くの時間を取っていたのが「変化や改革」を伴うものでした。「改革を行おうとすると年配のロータリアンからの反発があったりと、変化する時代を嫌う人が多い。」といったことや「クラブの歴史を重んじるあまり、二の足をふ

んでしまうことがある。」といった意見がありました。前述したように4割の人がロータリーは変化のペースが遅いと感じていると考えているということは、これから各クラブが避けては通れない道であり、会員の共通認識としてとらえ、改善に向けた努力が必要だと思いました。

一方で改革の第1歩としてクラブ会報誌の見直しをしたクラブの紹介もありました。ホームページを充実させ、会報誌はホームページに掲載し、紙ベースでほしい人にだけダウンロードして印刷し交付しているようです。予算的にはかなりの削減となり、その浮いた分を違う形で奉仕活動に役立てているとの事でした。

またクラブの年齢構成の関係でも討議が行われましたが、結論でいえば組織というのは各年代のバランスが取れているのがいいようで、留萌クラブは活動計画書にも掲載されているように、バランスが取れている方だと思いました。

18時からはR I 会長代理歓迎晩餐会が執り行われ、おいしい料理にお酒と和やかな雰囲気のもと、他のロータリアンとも懇親を深めさせていただき、非常に充実した時間を過ごさせていただきました。その後は留萌ナイトに合流し、一時は大変なこともありましたが、初日が無事に終わりホテルに戻れてホッとしたのか、すぐに寝てしまいました。

今回の地区大会では改めて歴代幹事さんのすごさがわかりました。参加にあたっての取りまとめ、ホテルの手配、移動手段、留萌ナイトの準備と、本業である仕事の合間にやる事が盛りだくさんでした。また不手際など多々あったと思いますが、お許しいただければと思います。私自身としては色々あったけど、無事に終わってよかったなというのが正直なところです。登録人数は会員33名中30名の登録、大会当日は20名の方に参加していただき、うれしく思っております。また留萌ナイトにも16名の方に参加していただきました。この場をおかりしてお礼申し上げます。ありがとうございました。今年度も1/3が経過しました。まだまだ各委員会の行事や5月のIMなどたくさんありますが、これからもよろしく願いいたします。以上で私の地区大会報告とさせていただきます。